

社会科学習指導案

3年2組 31名 指導者 宮内 隆 靖

本授業では、研究テーマを受け、以下のような視点で実践を行うものである。

- 体験的な活動などで調べたことを絵地図などに整理したことをもとに、2つの場所の土地の様子の違いについて話し合う。

1 小単元名 学校のまわり

2 指導計画 (総時数12時間)

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	1 学校のまわりの写真や地図から、学習問題をつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">田上小学校のまわりのようすはどうなっているのだろう。</div>	1
	2 学習問題について予想し、学習計画を立てる。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 田上校区には、いろいろと様子の違う場所があるのではないか。 ○ 校区探検や屋上からのかんさつをすればいいな。 ○ 調べたことを絵地図にまとめてみたい。 <p>【関・意・態】学校のまわりの様子に関心を持ち、自分から進んで学習問題を考え、学習計画を立てようとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">田上小のまわりは、どんなまちなのかを予想させ、どうすれば調べられるのか、方法についても、話し合うことができるようにする。</div>	1
調べる	3 校舎の屋上から四方位を眺め、概観をつかみ調べたい地域を選択する。	1
	4 校区の地図に分かったことをかき込みながら、グループで探検を行う。	5
	5 探検地図をもとに、調べたことを絵地図に表す。	2
まとめる・生かす	6 絵地図を見直し、地図記号や方位記号の必要性について知る。 <p>【技・表】地図記号を使って学校のまわりの地図をかくことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">探検してきたことを、グループごとに絵地図にまとめるようにさせる。その際、絵地図を発表会で活用していくことを事前に知らせ、表現の相手や表現の機会を明確にしておく。</div>	1
	7 できあがった地図をもとにして、自分の調べたまち自慢を行う。 <p>【知・理】絵地図を活用してまち自慢を行い、地域の特色に気付くことができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">探検の結果をまとめた絵地図に、インタビューしてきたことをなどを付け加えて発表することができるように助言する。</div>	1
まとめる・生かす	8 2つの通り沿いの商店街をくらべ、その違いから、校区の地形の特色と土地利用、交通の様子など、学校のまわりの特色を考える。 <p>【思・判】友達が調べた結果と自分たちの調べた結果を比べながら、学校のまわりの特色を考えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">通りによって商店の数が違う理由について考えさせることで、学校のまわりの土地の様子や交通の様子についても結びつけて考えられるようにする。</div>	2
	9 これまでの学習をもとに、学校の周りについてまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">田上小学校のまわりは、田上川にそって、本通りが南北に走っている。川の周辺部に、住宅や大きな道路が集まっている。また、東西は山に囲まれ、その近くに道路や鉄道がある。このように、校区内の色々な土地の様子に合わせて土地の使われ方が違っている。</div>	本時

3 本 時 (11/12)

(1) 目 標

田上小学校の周りの様子について、2つの通りの様子を比較して、なぜ、そのような違いがあるのかを考えさせることで、田上校区の特色について、土地の様子と交通の様子などと結びつけて考えることができるようにする。

(2) 評価規準

2つの通りの様子を比べ、違いを話し合うことで、学校のまわりの特色を考えることができる。


【社会的な思考・判断】

(3) 指導に当たって

本時の学習では、学校の周りがある、田上川沿いの通りと、天神地区の通りにある商店などの数を比較し、その違いに気付かせると共に、理由について考えられるように、「どうしてこのような違いがあるのだろうか」と発問したい。その際、子どもたちが作った絵地図などを活用し、地形と土地利用の様子、交通の様子などから、校区の特色について気付かせるようにしたい。

(4) 本時の実際

[] 子どもの意識 (資) 資料 () 教師の手だて ※ 評価

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価	
10 ↑ (分) ↓	つかむ・見通す	1 今までの学習の流れを想起し、学習のめあてをつかむ。 (資) 通りの写真の比較 <ul style="list-style-type: none"> ・田上川沿いの通りには、店が少ない。 ・天神には、コンビニなどの店が多いな。 ・同じ校区内なのに、どうしてちがいがあろうか。 	田上川沿いの通りと天神地区の通りにある、商店等の写真資料から、同じ校区内で通りの様子に違いが出ることに疑問をもたせるようにする。 
		2 めあてをつかみ、学習の見通しをもたせる。 2つの通りで様子が違うのはなぜだろうか。	根拠を示しながら意見を述べるようにウェビング図や絵地図などに整理したことを活用するよう助言する。
30 ↑ ↓	調べる	3 根拠を示しながら、様子の違いについて考える。 (資) 交通量のグラフ、航空写真、積層模型 <ul style="list-style-type: none"> 【交通の様子から】 ・朝と夕に車通りが多いのは、何かがあるからかな。 ・田上川沿いは、朝夕は車が多いけど、昼は少ない。 ・バスの本数とも関係があるかな。 【土地利用の様子から】 ・スーパーの周りには、住宅が多い。 ・天神は車で入りやすい店が多い。 【地形から】 ・田上川沿いは、広くて平らな場所に大きなスーパーがあるよ。 ・天神の通りは、道ぞいに店が集まっている。 	※ 2つの通りの様子を比べ、根拠をもって違いを話し合うことで、学校のまわりの特色を考えることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ○根拠をもって話し合うことができる子どもは、他の視点からの根拠を考えさせるように助言する。 ○根拠をもって話し合うことに戸惑っている子どもは、個別に資料を提示し、考えさせるようにする。
		4 話し合ったことをまとめる。 学校のまわりの、2つの通りで土地の様子がちがうのは、車やバスの通り、土地の広さなどとも関係がある。	話し合いの結果を基に、子どもの言葉を引き出しながらまとめるようにする。感想を自分の言葉で、表現させることで、本時に学んだことを振り返り、次への見通しがもてるようにする。
5 ↑ ↓	まとめる・生かす	5 本時の学習を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・お店の数の違いに気付くことができてよかった。 ・他の校区では、どのような特色があるのかな。 	